

令和元年度 公益財団法人富山県体育協会事業報告

本県のスポーツの普及・振興や競技力向上の推進母体として、加盟団体及び関係機関と連携し、次の諸事業を展開した。

I 法人運営

(1) 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名	回数	期 日	主な審議内容	
評議員会	1回	令和元年6月26日(水)	事業報告・決算	
理事会	1回	平成31年4月1日(月): 書面審議	代表理事の選定	
	2回	令和元年5月28日(火)	事業報告・決算	
	3回	令和元年11月11日(月)	表彰者選考	
	4回	令和2年3月18日(水)	事業計画・予算	
専門委員会	総務委員会	1回	令和元年5月28日(火)	事業報告・決算
		2回	令和元年11月11日(月)	表彰者選考
		3回	令和2年3月18日(水)	事業計画・予算
	普及委員会	1回	令和元年11月13日(水)	体協 TOYAMA・普及振興事業・スポ少事業
	強化委員会	1回	令和元年8月9日(金)	未来のアスリート15期生募集
		2回	令和元年12月16日(月)	未来のアスリート15期生2次選考
		3回	令和2年2月21日(金)	強化事業・振興事業
スポーツ医科学委員会	1回	令和2年3月3日(火): 書面報告	国体選手問診表	
特別委員会	国民体育大会選考委員会	1回	令和元年8月9日(金)	国体選手選考
		2回	令和元年8月28日(水)	
		3回	令和元年12月16日(月)	
		4回	令和2年1月21日(火)	

(2) 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められた者や本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を令和元年12月10日（火）に表彰した。

種 類	受賞者・受賞団体数	
特別表彰	個人 19 名	団体 3 団体
国体表彰	個人 20 名	団体 6 団体
感 謝 状	個人 43 名	
計	個人 82 名	団体 9 団体

(3) 競技団体への経理指導

競技団体への経理について、より適切に事務処理を行うため、適宜顧問税理士による経理指導を行った。特に、(一財)富山県バスケットボール協会ほか8団体については、令和元年11月25日（月）から27日（水）までの3日間、税理士等により会計諸帳簿（現金出納簿や領収書等）検査などの個別指導を実施した。

II 公益目的事業

1. スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開した。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する当協会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行った。なお、指導者のスポーツ指導における暴力の根絶に向け、本協会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図った。

(1) 県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

① スポーツに関する広報啓発事業

各種イベントや行事予定など、スポーツに関する情報を広く県民に周知するために、次の広報誌等を作成するとともに、だれでも必要な情報等を簡単に検索できるよう、親しみやすいホームページの充実を図った。

ア. 広報誌の発行

名 称	発行部数	配布先	発行回数	発行元
体協TOYAMA	2,330部/回	加盟団体、市町村教委、アスリート卒業生ほか	年1回	県体育協会
スポーツパレス便り	2,500部/回	市町村関係団体、県立学校ほか	年11回	県総合体育センター
ジムワールド	3,000部/回	呉西地区県立学校、近隣企業ほか	年12回	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	2,600部/回	県立学校、近隣企業ほか	年4回	県高岡総合プール
スポーツリーダーとやま	2,000部/回	公認スポーツ指導者、加盟団体、市町村教委ほか	年1回	県公認スポーツ指導者協議会

イ. インターネットを利用した情報発信

各種スポーツ情報ネットワークの中核として、機能の充実を図った。

- (ア) 本会HP上での各種スポーツ情報の発信
- (イ) 地域スポーツ団体やスポーツ指導者パスネットとやまの情報発信
- (ウ) メールを利用したスポーツに関する情報（JISS や日本体育協会等）の発信
- (エ) 上記（ア）～（ウ）と、スポーツ情報ネットワーク《県委託事業：県総合体育センター》を活用し、本県の各種スポーツ情報の充実を図った。

② エンジョイスportsサポート事業

地域住民の誰もが参加できるスポーツ活動に対し助成を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツ人口の拡大を図った。

実施市町村	実施事業	参加者数
富山市 ほか8市町村	小学生スポーツ交流大会 ほか9事業	1,926名

③ 生涯スポーツ推進事業

県民が生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じてスポーツを生活の中に位置づけ、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図った。

ア. 巡回指導 元氣とやまスポレ交流大会 2019 砺波地区ほか 10 団体

イ. 研修会の開催

期 日	会場・講師・内容	参加者数
令和元年8月31日(土)	実技：富山県総合体育センター KOBAS 式☆バランスSライセンスマスタートレーナー 近江 純 未就学児・小学生へのスポーツプログラム 『KOBAS 式体幹☆バランスを用いた幼少期に必要なコーディネーション&バランストレーニング』	35名
	シナプソロジーアドバンス教育トレーナー 藤井 直子 一般・シニアへのスポーツプログラム 『脳を活性化するシナプソロジーで認知機能を高めよう』	40名
令和2年2月8日(土)	座学：富山県総合体育センター (公財)日本スポーツ協会総務部企画調整課課長 兼 東京オリンピック・パラリンピック等支援室室長代理 金谷 英信 「スポーツ団体のガバナンス確保について」	47名
	群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会副会長 小出 利一 「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度について理解を深めよう」	47名

※参加対象者 市町村スポーツ関係団体、地域スポーツ関係者、パスネットとやま登録者

ウ. スポーツ指導者パスネットとやまの運用

「スポーツ指導者パスネットとやま」登録者 151 名に指導状況調査を行うとともに、登録更新案内を送付した。

(2) 県民体育大会開催事業

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

① 第 72 回富山県民体育大会（夏季競技）

季	競 技	期 日（中心会期）	会 場	参加者数
夏季	陸上競技 ほか 41 競技	令和元年 7 月 27 日（土） ～ 7 月 29 日（月）	富山市 ほか 9 市 3 町	23, 126 名

大会成績 (二部郡市対抗)	区分	1 位	2 位	3 位
	一般	富山市	高岡市	黒部市
	中学	富山市	高岡市	砺波市

② 第 73 回富山県民体育大会（冬季競技）

季	競	期 日	会 場	参加者数
冬季	スケート競技 ほか 2 競技	令和元年 11 月 23 日（土） ～令和 2 年 1 月 19 日（日）	富山市 ほか 1 県	372 名

(3) スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催し、資格保持者の資質向上を図るため、次の研修会を開催した。

ア. 日本スポーツ協会公認指導者養成講習会

期 日	資格名	競技名	会 場	参加者数
令和元年 8 月 14 (水) ～10 月 22 日(火)	コーチ 1, 2	バレーボール ほか 1 競技	富山県総合体育センター ほか 1 会場	58 名

イ. 富山県公認スポーツ指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	参加者数
令和元年 11 月 24 日(日)	富山大学五福キャンパス 女性クリニック We 富山」婦人科医 鮫島 梓 「月経をコントロールして最高のパフォーマンスを」 国立スポーツ科学センター研究員 鈴木なつ未 「女性アスリートのコンディションを考える」 ～選手のためにできること～	218 名

(4) スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のからだところを育てる」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生活を送れるよう、各種事業を展開した。

① 組織の充実

ア. 組織の整備強化

(ア) スポーツ少年団指導者顕彰事業

期 日	会 場	受賞者数
令和2年2月16日(日)	ヨシダ大島体育館	1市8名

イ. 活動の充実

(ア) 富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

期 日	実施競技	会 場	参加者数
令和元年6月22日(土) ～7月6日(土)	軟式野球競技 ほか 11 競技	富山市 ほか4市2町	2,758名

(イ) 地域交流促進事業

期 日	実施スポーツ少年団	開催地	参加者数
令和元年4月27日(土) ～11月17日(日・祝)	射水市 ほか 5市町村スポーツ少年団	射水市 ほか1市5県	893名

(ウ) 母集団育成事業

期 日	実施スポーツ少年団	参加者数
令和元年11月2日(土) ～令和2年1月25日(土)	高岡市 ほか1市1町スポーツ少年団	249名

② 指導体制の整備

ア. 各種講習会・研修会

(ア) 第2回ジュニアスポーツフォーラム指導者全国研究大会

期 日	開催地	受講者数
令和元年6月16日(日)	東京都	4名

(イ) 北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

期 日	開催地	受講者数
令和元年11月2日(土)	石川県白山市	12名

(ウ) 富山県スポーツ少年団指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和2年2月16日(土)	ヨシダ大島体育館 東京都昭島市立光華小学校 副校長 眞砂野 裕 講義「健やかな子供たちの育成 ～指導者として大切にしたいこと～」 実技「子供が面白くのめりこむ運動遊び」	66名

イ. 日本スポーツ少年団認定員養成講習会

期 日	会 場	受講者数
令和元年11月30日(土) ～12月15日(日)	富山市 ほか1市	165名

③ 交流活動の推進

ア. 国際交流の推進

日独スポーツ少年団同時交流

	第46回日独スポーツ少年団同時交流	
	派遣事業	受入事業
期 日	令和元年7月31日(水) ～8月17日(土)	令和元年7月29日(月) ～8月2日(金)
開催地	ドイツ連邦共和国	黒部市
人 数	指導者1名 団員1名	12名

イ. 全国的・地域的交流の推進

(ア) 全国交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和元年7月27日(金) ～8月4日(日)	ホッケー競技 ほか1交流会	栃木県 ほか1県	32名

(イ) 北信越ブロック交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和元年7月27日(金) ～10月27日(日)	軟式野球競技 ほか4競技1交流会	福井県 ほか2県	150名

2. スポーツ強化推進事業

国民体育大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、「元気とやま」の創造に資するものである。このことから、国民体育大会をはじめ、全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強化事業を実施し競技力向上に努めた。

(1) 県民の競技力向上の推進

① 国民体育大会等開催事業

ア. 第40回北信越国民体育大会

国民体育大会の主旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて4県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的として開催された。

(ア) 大会概要

会期	早期開催 令和元年5月4日(土・祝)～8月18日(日) 中心会期 令和元年8月23日(金)～25日(日)
開催地	石川県下7市4町
実施競技	カヌー競技 ほか30競技
参加人数	選手・監督712名 本部・顧問16名 計728名

(イ) 選手団等

荒井 克博 団長 ほか727名

第74回国民体育大会本大会ブロック代表数 50代表獲得

イ. 国民体育大会

第74回大会の本大会は茨城県で開催され、男女総合成績(天皇杯)は36位であった。また、第75回冬季大会スケート競技は青森県八戸市・三沢市で、スキー競技は富山県富山市・南砺市で開催され、冬季大会終了時点で、男女総合成績は16位である。

(イ) 大会概要

回	季		期日	開催地 (参加者数)	成績
74	本大会	会期前	令和元年9月7日(土) ～9月16日(月・祝) (水泳競技ほか2競技)	茨城県 (443名)	入賞数※ 73 優勝 バドミントン競技 自転車競技
		中心会期	令和元年9月28日(土) ～10月8日(火) (陸上競技ほか34競技)		
75	冬季大会	スケート	令和2年1月29日(水) ～2月2日(日)	青森県 八戸市・三沢市 (7名)	入賞数※ 15
		スキー	令和2年2月16日(日) ～2月19日(水)	富山県 富山市・南砺市 (80名)	

※競技別総合成績を含む

(イ) 選手団等

本大会 石井 隆一 団長 塩谷 雄一 副団長 ほか 441 名

冬季大会

・スケート競技会 米山 隆 団長 ほか 6 名

・スキー競技会 田畑 裕明 団長 ほか 79 名

② 競技力向上事業

ア. 国体へ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 38 競技 532 名 成年種別 41 競技 472 名 計 1,004 名

スタッフ指定：41 競技 総監督 26 名 各種別監督 97 名 コーチ 65 名 計 188 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招へい事業

7 競技に 7 名のアドバイザー、21 競技に 25 名のトレーナーを招へいし、国体期間中及び合宿・遠征等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。

(エ) 選手強化対策補助事業

国体での上位入賞を目指し、競技団体ヒアリング等を通じて各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にした。また、競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘に努めた。

イ. 将来に向けた優秀選手の育成

(ア) 元気とやまスポーツ道場開催事業

中学校や高等学校の有望な逸材を発掘し、県内の拠点スポーツ施設において長期的な展望のもとに育成・強化を図った。

内 容	競技数	参加者数
練習会、講習会	アイスホッケー競技 ほか 19 競技	981 名

(イ) 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業

全国大会で優勝等の指導経験が豊かなスポーツ指導者を中・高等学校へ派遣し、部活動顧問の指導力及び部活動運営を支援することにより、本県スポーツの競技力向上と運動部活動の一層の充実を図った。

コーチ氏名	指導部活動	派遣校	指導回数
石川 春樹	バレーボール	高岡商業高等学校 ほか2校	728回
橘川 謙三	柔道	小杉高等学校 ほか3校	
坂巻 龍雄	ボート	八尾高等学校 ほか2校	
飛田 昌広	ホッケー	石動高等学校 ほか5校	
金子 龍一	陸上競技	龍谷富山高等学校 ほか4校	
山中 茂	スキー	富山市立上滝中学校 ほか2校	

③ 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行った。

ア. 14期生（平成31年1月指定）73名

(ア) 育成プログラムの実施

実施内容	実施回数	会場
「メンタルトレーニング」 関西福祉大学 教授 岡澤 祥訓	6回	県総合体育センター 山野スポーツセンター
「スポーツ栄養」 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 舘川 美貴子	4回	
「コンディショニング」 県総合体育センター 山地 延佳	4回	
「ファルトレクトレーニング」 県総合体育センター 柿谷 朱実	3回	
「コーディネーショントレーニング」 (一社) コーチングバリュー協会 東根 明人	5回	
体力測定	1回	

※令和2年3月14日（土）に予定していたスポーツ講演会（講師：山崎勇喜）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(イ) 視察研修

期 日	視察場所	参加者数
令和元年12月15日（日）	味の素ナショナルトレーニングセンター	66名 (引率者5名)

イ. 15期生（令和2年1月指定）75名

(ア) 育成プログラムの実施

実施内容	実施回数	会場
「コーディネーショントレーニング」 （社）コーチングバリュー協会 東根 明人	1回	県総合体育センター
「コンディショニング」 県総合体育センター 山地 延佳	1回	
「スポーツ栄養」 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 舘川 美貴子	1回	
体力測定	1回	

ウ. 奨励賞の授与

1期生から13期生の修了生の中で、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた4名に「奨励賞」を授与した。

エ. 修了生サポートプログラム

体力測定2回 135名 メンタルトレーニング1回 73名

オ. 修了生活躍状況の掲示

県総合体育センター正面入口横にボードを設置し、修了生の活躍状況を掲示した。

※現在15期生まで累計951名（うち 日の丸をつけた選手69名）

④ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内容	競技数	参加者数
記録・練習会	スケート競技 ほか34競技	11,587名
教室	スケート競技 ほか19競技	7,495名

⑤ TOYAMAアスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、各種強化事業と併せ、選手の発育・発達段階に応じた適切で、より効果的な医科学サポートを実施するとともに、令和元年12月に開館した第2トレーニング室を最大限に利活用し、選手へのサポート体制のさらなる拡充に努めた。

とりわけ、2020年に開催される東京オリンピックを見据え、監督はじめコーチ・スポーツドクター・トレーナー等が連携を図りながら、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医科学的サポートを積極的に展開し、全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成に取り組んだ。

ア. 委員会等の開催

会議名	期日	実施内容
委員会	令和元年5月10日（金）	事業報告・計画

スタッフミーティング	令和元年 11 月 30 日 (土)	データ分析・評価方法
	令和 2 年 2 月 2 日 (土)	

イ. サポート内容

区分	主な内容	人数・回数等
医・科学サポート	メディカルチェック 栄養サポート メンタルサポート ドーピング研修	20 競技 29 種目 796 名
サポートスタッフ 中央講師の派遣	大会・強化合宿への スタッフ派遣	大会 63 日 強化合宿 56 日
調査・研究	J I S S N T C H P S C との連携	12 回
スポーツ情報	HOW TO WIN No.26 スポーツ医科学的トレーニング情報No.57 T-net	ホームページへの掲載 情報発信

ウ. スタッフ研修

県総合体育センター、県西部体育センターや高岡総合プールの当協会プロパー職員を中心に「大会等の帯同時の携行品の確認及び使用法について」や「トレーニング指導等について」の研修会を実施し、資質の向上に努めた。

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア. アンチ・ドーピング教育・啓発

国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育及び啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、指導者や強化・普及担当者を対象とした講習会を開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	会場・講師・内容	参加者数
令和元年 7 月 14 日 (月) ～令和 2 年 2 月 13 日 (木)	富山県総合体育センター ほか 4 会場 富山大学 布村忠弘 ほか 3 名 「ドーピングとは・うっかりドーピングとは・検査 について・TUE 申請とは」等	103 名

※参加対象者 ボクシング競技 ほか 5 競技 令和元年度富山県体育協会強化指定選手等

イ. 問診票による健康診断

県体育協会が指定する強化指定選手及び国民体育大会選手 1,089 名に対し、問診票による健康状態調査を実施した。女性アスリートには、女性アスリート用の問診表も活用している。

⑦ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的大会や日本リーグ等レベルの高い大会への開催運営費を補助した。

実施期間	平成 31 年 4 月～令和元年 12 月
実施競技	2019 カヌースラローム・ワイルドウォーター ジャパンカップ キョクヨーシリーズ ほか 10 大会

⑧ 海外派遣選手激励事業

スポーツをする選手たちに夢と希望をあたえるとともに、スポーツ人口の拡大に繋げることを目的に、国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督に激励費を渡した。

国際大会	助成大会	第 25 回世界バドミントン選手権大会 ほか 5 大会
	派遣人数	延べ 17 名
	派遣先	スイス ほか 5 ヶ国

⑨ 2020 東京五輪特別対策事業

東京オリンピック競技大会での活躍を目指す本県選手の育成に向け、関係競技団体等が行う日本代表選手最終選考会等現地視察や競技力調査に対して支援した。
(レスリング競技)

3. スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民が安全かつ快適にスポーツができるよう県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいづくりに寄与するため、次の各種事業を実施した。

(1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

① スポーツ施設管理運営事業

施設管理業務とスポーツ振興のソフト事業を一体的に推進するとともに、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めた。また、スポーツ人口の拡充を図るため、利用者のニーズに合わせた管理運営を実施した。

昨年度から実施している 65 才以上を対象としたシニア割引や平日の午前を対象とした朝割のほか、3 施設の共通利用券を発行するなど、利用者サービスの向上に努めた。

さらに、令和元年 12 月に開館した富山県総合体育センター第 2 トレーニング室を最大限に活用し、新たな利用者の拡大につなげた。

ア. 県営体育施設（指定期間 5 年間 平成 30 年 4 月～令和 5 年 3 月）

施設名	利用人数	施設名	利用人数
県総合体育センター	249,770 名	県西部体育センター	153,349 名
県高岡総合プール	100,527 名	県営富山弓道場	12,054 名
県漕艇場	18,366 名	県上市カヌー競技場	2,520 名
計		536,586 名	

イ. 県体協体育施設

施設名	利用人数	施設名	利用人数
アオイスportsハウストレーニング場	10,924名	山野Sportsセンター	4,962名
屋内相撲練習場	1,592名		
計		17,478名	

(2) 各種Sports教室開催事業

Sportsを始めるときっかけと楽しむことができる場を広く提供するとともに、それらによって作られた自主グループ活動の支援を行うために、次の各種教室を展開した。

Sports教室開催事業の実施状況

施設名	教室	実施回数	延べ受講者数
県総合体育センター	元気 TOYAMA Sports・文化はつらつ塾 ほか2教室	88回	1,589名
県西部体育センター	かけっこ教室 ほか5教室	143回	1,500名
県高岡総合プール	初級スイム ほか39教室	1,449回	16,196名
県営富山弓道場	弓道教室	94回	1,043名
県上市カヌー競技場	カヌー体験教室	1回	18名
計		1,775回	20,346名

Ⅲ 収益目的事業

本会が管理運営する県総合体育センターほか5施設に自動販売機を設置し、飲料等を提供した。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃Sportsに親しみのない県民がSports施設を知っていただくことで、今後のSports活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてSportsに親しむ契機になることを期待し、管理運営するSports施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与した。